

ここに
宛名シールが貼ってある方と
本状を郵送でお届けした方が
永代祠堂ご志納者(家)です

秋季彼岸会 2018 永代祠堂法要

9月22日(土)・23日(日) 13時30分～16時00分

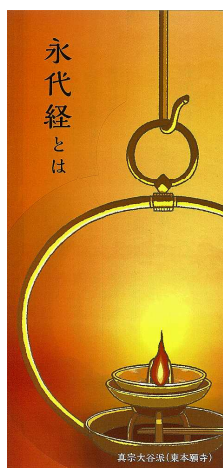
法話 (22日) **三島多聞師**

昭和19年高山市生まれ。京都外国語大学卒業。大谷大学大学院修了。台湾師範大学留学。中村久子顕彰会々長。真蓮寺住職。高山別院輪番。

(23日) **平田聖子師**

昭和35年岡崎市生まれ。県立芸術大学卒業。ミュンヘン留学。文化庁舞台芸術創作奨励賞受賞。作曲家。本龍寺新本堂に親鸞和讃へ作曲。

- 本状(左上に宛名シール貼付のもの(和泉町在住の方用)と、ダイレクトメールでお届けしたもの(和泉町外の方用))は過去に永代祠堂懇志をご志納され、お身内の法名が永代法名軸に記載されているご家庭にお届けしております。
- 亡くなられたご家族が、まだ永代法名軸へ供養されていない場合、至急のお手続きをお願いします。9月20日(木)までなら今法要に間に合います。詳しくはお寺までお尋ね下さい。
- ◆ ご参詣当日は、まずお庫裡玄関にて受付をお通り下さい。
- ◆ 現在は本堂建設中ですが、改修された同朋会館にて、例年通りの彼岸会を執り行います。
- ◆ 法要前には境内テントでお抹茶接待があります。
- ◆ お斎(お弁当形式)をご用意します。お寺で召し上がっても、お持ち帰りもできます。



永代経堂とは

← 東本願寺リーフレット配布中

永代祠堂とは？

祠堂しどうというのはお堂まつを祠まつとすることで、お寺を念仏道場たらしめることをいいます。祠堂をあげるとは故人を念仏の法座に届けることを意味します。具体的には拙寺に代々伝わる永代法名軸に法名等を記載し、春秋のお彼岸に末永く法要を勤めて、ご遺族には生きる勇気の出るご法話に触れて頂きます。亡き人も、娑婆でがんばっている我々も、ともに救われていくために勤める法要が永代祠堂法要なのです。



真宗大谷派 本龍寺

愛知県安城市和泉町中本郷41
TEL.0566-92-0505

和泉の本龍寺

検索

第2回 本堂建設現場内覧会

9月22日(土) 16:00～17:00

※「秋季彼岸会2018」初日終了後

お陰さまで、本堂建設事業は順調に進んでおりましていよいよ11月に竣工を迎えます。そこで今回、特別に建設中の本堂内部に入れて頂く機会を設けます。大間の中央に柱がない明るく広い空間と、檜材の美しい木目や堂宮造作の仕上がり具合を、ぜひ直接ご覧下さい。

